

2022 年度重点プロジェクト「大都市の企業・個人を対象とした東三河関係人口、移住・定住の創出」事業の実施状況について

1 関係人口の創出

(1) 東三河の魅力啓発資料の作成

東三河地域内の小学4年生を対象に、地域の魅力を紹介するパンフレットを昨年度から作成・配布している。

今年度は、「だもんで豊橋が好きって言っとるじやん!」の作者漫画家佐野妙氏による4コマ漫画等を使い親しみやすい内容に更新した。

配布時期：2023年12月中旬

配布実績：東三河地域の各小学校(特別支援学校含む)133校 9,583部、市町村 340部



(2) 企業連携を通じた関係人口の創出

ア ビジネスマッチングを通じた関係人口の創出

- ① 東京駅周辺(大手町・丸の内・有楽町地区)の大企業等を対象に、「食や農」をテーマとしたビジネスマッチングイベントを実施し、関係人口の創出をはかった。

開催日	2023年10月11日(水)13:00~16:00
場所	3×3LabFuture(東京都千代田区大手町)
参加者	首都圏側 35名(食や地域連携に興味のある企業や個人等) 東三河側 5社(中部ガス不動産(株)、(株)糶屋三左衛門、(株)アグリトリオ、豊橋百農人プロジェクト、(株)道の駅とよはし)

- ② 東三河企業の抱える課題を首都圏等の企業に勤務する人材を活用して解決する取組により、関係人口の創出をはかった。(マッチング成立2件、マッチング調整中3件)
成立事例：福井酒造(株)×広告代理店勤務(新たな日本酒のPR方法)(参考資料1)
(株)ダイケン商会×広告代理店勤務(SDGs製品の売り上げ拡大を目指す)

イ セミナーの実施

企業連携を通じた関係人口の創出を目的にワークショップやセミナーを開催した。

タイトル・内容	開催日		参加者
ワークショップ「デザイン経営をテーマとした次世代の人材育成」 運営：fabcafe ナゴヤ	ワークショップ 全3回	2023年9月19日(火)、9月26日(火)、10月10日(火)	14名
	成果発表会	2023年10月25日(水)	17名
セミナー「高度外国人材活用による経営課題の解決」 出演者：クレイベトナム(株)、西島(株)	2023年10月26日(木)		34名

ウ 東三河企業への就職促進

東三河の人材不足を補うため、東三河地区校長会に依頼し、東三河地区の高校へ東三河学生就職NAVI「リクrooting」登録案内チラシを配布し、登録を呼びかけた。(東三河地域全30校、約3,700枚を配布)

(3) ボランティアを通じた関係人口の創出

関係人口を創出するため以下の3つのテーマにより実証実験を実施した。

テーマ	内容	開催日	参加者数
歴史	市町村文化財担当課と連携し歴史をテーマとしたボランティアの広域的な募集を実施。	2023年8月から順次実施。(7団体11事業)	73名* (11事業計)
スポーツ	アウトドアスポーツイベントを支えるスポーツボランティア養成講座を実施。(全3回講座)	① 2023年9月24日(日) ② 2023年10月8日(日) ③ 2023年10月22日(日)	①9名 ②6名 ③5名
草刈り	地域の大きな課題である「草刈り」を支援するボランティア養成講座の実施。(2回開催)	① 2023年10月7日(土) ② 2023年12月3日(土)	①6名 ②4名

※今年度新規参加者

(4) 重点PT構成団体による2023年度における取組等

- ・ほの国東三河応援倶楽部等を活用した情報発信(豊橋市)
- ・「豊川って、豊かだ」キャンペーン(豊川市)
- ・映画・ドラマなどのロケ誘致を柱にしたシティプロモーション活動(蒲郡市)
- ・ダモンデトレイルの開催及び移住ブースの設置(新城市)
- ・「渥美半島たはらマルシェ」の開催(田原市)
- ・田口高校お仕事フェア(北設楽郡の事業所の紹介)の開催(設楽町、東栄町、豊根村)
- ・オリエンテーリングイベントの開催(設楽町)
- ・マッチングサイト「おてつたび」を活用した関係人口づくり(新城設楽振興事務所)

2 移住・定住の促進

(1) 移住ポータルサイトの充実

ア 東三河に活動拠点を設け、全国展開している企業の特徴的な取組を移住ポータルサイトで紹介し、首都圏に向けてPRを行った。

掲載企業 (15社)	加山興業(株)、環境テクシス、新東工業(株)、瀧川オブラート(株)、東洋製罐(株)、戸田工務店、トピー工業(株)、(株)トヨコン、日東電工(株)、(株)ニデック、HANAイノベーション(株)、(株)パワーウェーブ、フォルクスワーゲンジャパン(株)、福井酒造(株)、三菱ケミカル(株)
---------------	---



企業紹介ページ
二次元コード



東洋製罐(株)の紹介ページ

イ 各市町村ホームページをRSSにより連携し、移住希望者に市町村の到着情報を届けられるよう機能を拡充した。

ウ 東三河地域への移住希望者がいつでも気軽に先輩移住者等の話を聞くことができるように、今年度実施した移住セミナーの動画配信をアーカイブ化した。

(2) 東京圏移住イベントの実施

ア ふるさと回帰フェア 2023

開催日：2023年9月17日(日)、
 会場：東京国際フォーラム
 内容：愛知県2ブース(東三河、山村・離島)、
 市町村3ブース(豊橋市、蒲郡市、新城市)

相談件数：65件(85%増、昨年度35件)



(東三河ブースの様子)

イ JOIN 移住・交流&地域おこしフェア 2024

開催日：2024年1月13日(土)、14日(日)、会場：東京ビッグサイト
 内容：愛知県1ブース(山村・離島)、市町村2ブース(蒲郡市、設楽町)※1日のみ
 相談件数：35件

ウ ふるさと暮らしセミナー

ふるさと回帰支援センター(東京都千代田区有楽町)セミナールーム及びオンラインによりセミナーテーマの内容説明や個別相談を実施。

	日時	テーマ	出演者	参加者
①	2023年9月22日(金)	体験紹介	東栄町 伊藤 拓真さん 設楽町 石井 峻人さん	8名
②	2023年10月7日(土)	街で暮らす	豊橋市 小倉摩美さん 豊川市 大内舞さん	7名
③	2023年10月8日(日)	海で暮らす	蒲郡市 鈴木芳さん 田原市 小川史さん	6名
④	2024年1月27日(土)	趣味	種田繁人さん 蜂須賀智也さん	13名
⑤	2024年1月28日(日)	兼業・副業	福井酒造(株) 福井知裕さん 古池茜さん、種田繁人さん	5名
⑥	2024年2月2日(金)	仕事紹介	新城市 中野 耕平さん 設楽町 清水 貴裕さん	10名
⑦	2024年2月3日(土)	交流拠点	新城市 山本 悠司さん 東栄町 金城 愛さん 豊根村 河合 淳支さん	9名

(3) 移住希望者を効果的に受け入れるための相談体制等の強化

移住希望者に対し東三河を訪れる機会を作り、地域のキーパーソンとつなぐことで東三河への移住を促進するため、8市町村ごとに拠点となる施設等をパンフレット及び移住ポータルサイトで紹介した。(拠点8か所、拠点への移住相談件数30件)

(4) 重点PT構成団体による2023年度における取組等

- ・「定住・移住アドバイザー」による情報発信(豊橋市)
- ・豊川市奨学金返還支援事業の実施(豊川市)
- ・「ふるさとワーキングホリデー」(一定期間働きながら暮らしを体験)の実施(蒲郡市)
- ・新城市移住定住公式 Instagram の開設(新城市)
- ・たはら暮らし定住・移住サポーター制度の実施(田原市)
- ・したらワークス協同組合と連携しながらの移住相談(設楽町)
- ・移住補助制度「とうえい暮らしのカラフルパッケージ事業」の実施(東栄町)

- ・村内見学ツアー「とよねツアーズ」の実施(豊根村)
- ・「奥三河魅力創造カンパニーin 東栄ドームふるさとで働くヒーローに会いに行こう！」の開催(新城設楽振興事務所)
- ・「豊橋商工会議所無料職業紹介所」による中途人材の採用支援(東三河広域経済連合会)
- ・東三河地域外で開催される合同企業説明会の出展料補助(東三河広域連合)
- ・名古屋の学生を対象とした東三河企業就活セミナーの実施(株式会社タスキ)

3 来年度の新たな取組

(1) 首都圏における東三河のファンづくりと情報発信

- ・全国の自治体が移住に力を入れているため、首都圏在住の移住希望者の争奪が激化し、似たような情報が溢れていることから、セミナーのような不特定多数に向けた情報発信の効果が薄れており、顔の見える関係による信頼できる情報が改めて重視されている。
- ・首都圏の東三河出身者等が、東三河をテーマに集まり親睦を深めるイベント等を開催することで、首都圏において東三河へ「高い関心を持つファン」を作り、口コミなどにより東三河の情報を発信することで、東三河へ興味を持つ人を増やし、関係人口や移住希望者の増加につなげる。(参考資料2)

(2) 移住件数の整備

各市町村のそれぞれの指標を以下の3点に取りまとめ、これらの指標によって東三河地域の移住の成果を見える化していく。

指標	内容
① 東三河への移住に興味を持った者	県及び各市町村の移住イベント等への参加者数
② 東三河への移住の見込みのある者	市町村窓口、移住サポーター等へ移住相談を行った者
③ 東三河へ移住した者	移住支援制度の利用者(重複含む)

4 進捗管理指標等

(1) 進捗管理指標(2022年度~2024年度)

指標	2022年度末	2023年度末(速報値)	目標(2024年度末)
ふるさと回帰支援センター(東京)の移住希望地ランキング(愛知県)	21位以下	21位以下	20位以内
コーディネート機能による、東三河の各地域への訪問回数(オンライン含む)	75回	129回	250回(3か年累計)
大都市の移住者受入窓口と東三河の市町村等との情報交換会の開催回数	2回	2回	6回(3か年累計)

(2) 外部機関による評価

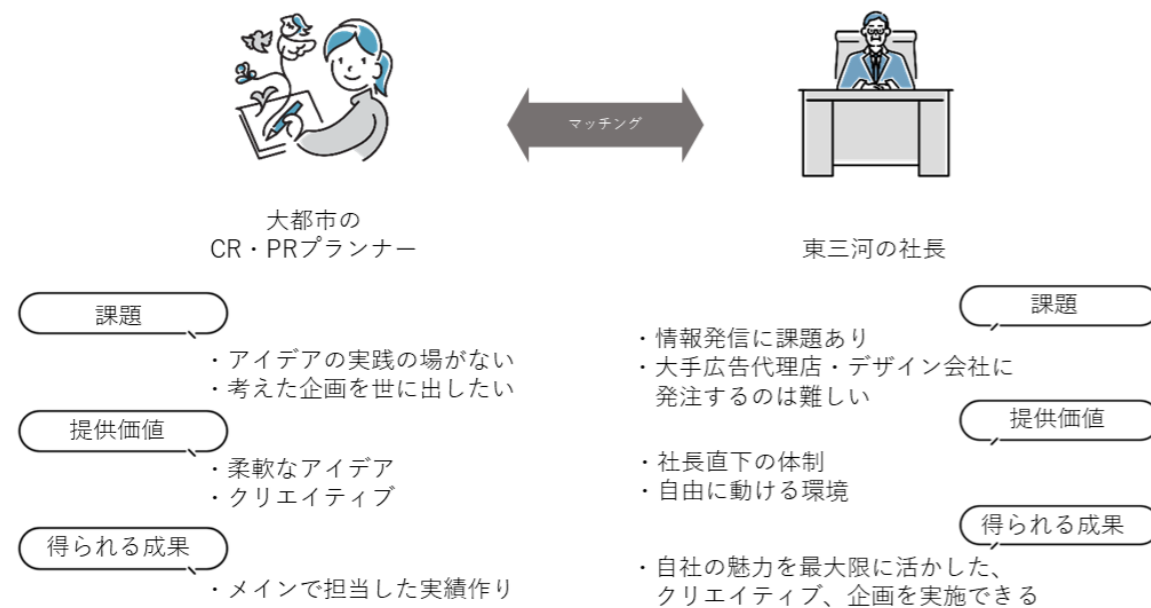
- ・「共働き子育てしやすい街ランキング2023」(日本経済新聞社と日経BP「日経xwoman(クロスウーマン)」)総合編全国3位(豊橋市)
- ・「住み続けたい街 駅ランキング(愛知県版)2023」(大東建託「賃貸未来研究所」)第2位「豊橋鉄道東田本線 運動公園前」(豊橋市)、第3位「JR 東海道本線 三河塩津駅」(蒲郡市)、第4位「名鉄豊川線 八幡」(豊川市)

ビジネスマッチングを通じた関係人口の創出

(東三河企業の抱える課題を首都圏等の企業に勤務する人材を活用して解決する取組)

1 事業の概要

大都市に勤務する PR プランナーの課題として、クライアントのトップと直接話せる機会が少なく、自分の企画が世に出せないという悩みがある。一方で東三河の企業は、高い技術力があっても、情報発信が弱く、それをうまく PR できていない現状がある。両者をマッチングすることで、双方の課題を解決する取組。

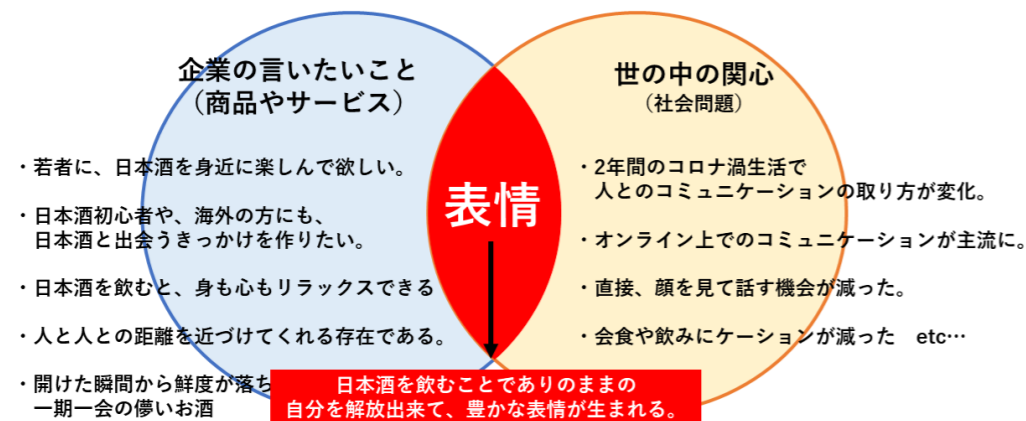


2 マッチング事例

首都圏の広告代理店に勤める PR プランナーの方が、日本酒の新たな表現方法について、福井酒造とともに取り組んだ。

日本酒の新たな PR 方法として、表情を用いて情報発信することを提案した。

2つの円を接点を発見する
世の中の関心との接点で「ストーリー」をつくるのが PR



3 成果

初心者には敷居が高い日本酒を誰もが直感的に楽しみながら学べる指標を「表情」で表現した「日本酒表情図鑑」を作成。今後、ターゲットに届く PR 施策を検討していく予定。



東三河における移住・定住及び関係人口施策の実施状況について

移住定住施策

東三河への移住につながる流れの整理と移住希望者の増加

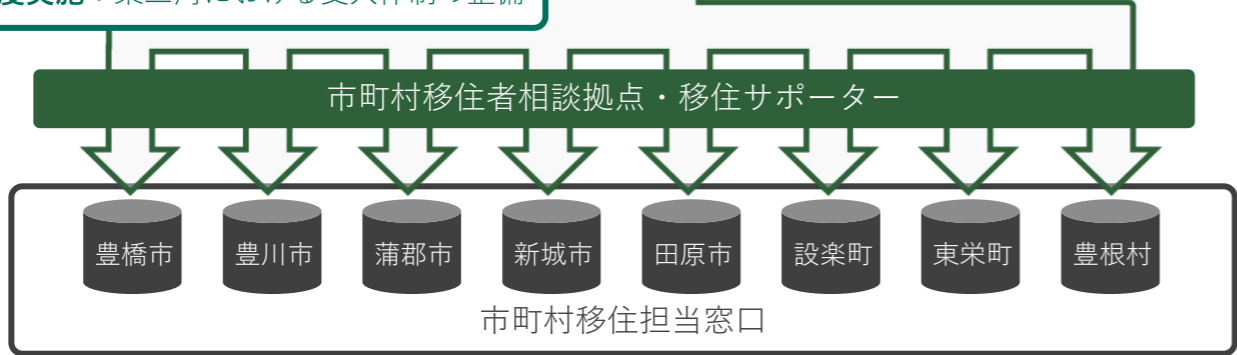
2024年度実施：首都圏における東三河のファンづくりと情報発信



2022年度：首都圏における相談体制の整備



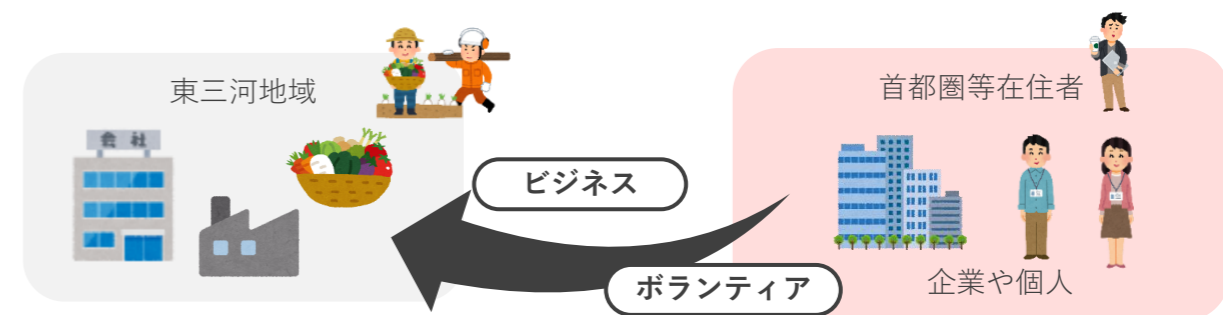
2023年度実施：東三河における受入体制の整備



	内容	具体的な施策
2022年度	首都圏における相談体制の整備	・移住ポータルサイト開設 ・首都圏移住フェア初参加 ・東三河企業の特徴的な取組の発信 等
2023年度	東三河における受入体制の整備	・各市町村に移住サポーター等を設置 ・首都圏等に本社を持ち、東三河に活動拠点を設けている企業情報の発信 等
2024年度	首都圏における東三河のファンづくりと情報発信	ほの国東三河応援倶楽部・東三河県立高校OB会等を活用した情報発信

関係人口施策

ビジネスやボランティア等でのつながりをきっかけに、東三河地域で継続的に関わる人（関係人口）を増やすことで、東三河に関心を持つ人を増やすとともに、東三河の経済や地域の活性化を図る。



	ビジネス		ボランティア		
	企業×企業	企業×個人	歴史	スポーツ	草刈
2022年度	首都圏企業、東三河企業への調査 (首都圏21件、東三河81件)		東三河地域の抱える地域課題の調査 (24団体)		
2023年度	<ul style="list-style-type: none"> 東三河企業と首都圏企業のビジネスマッチングに向けた調整 (三菱地所×中部ガス不動産)(参加者40名) マーケティング人材の育成講座を活用したビジネスマッチング (セミナー等参加者65名) 	首都圏個人と東三河企業との新たなマッチング (マッチング済1件、調整中3件)	実証実験 ・ボランティア行事のとりまとめ ・ボランティアの募集 (7団体11事業73名参加)		
2024年度	東京都大手町、丸の内、有楽町 (大丸有) 区域の企業・社員と東三河の農・食分野の企業等とのマッチングの推進	同上	実証実験・自走に向けた支援 ・企業と連携したボランティアの推進 ・実証実験で得られた関係人口の活用の方法や手順やコツなどの共有		
関係人口施策を活用した東三河ファンづくり					